

# JAPAN JAZZ

MAY 2023  
Vol.

152

生誕100周年

Remembering

Wes  
Montgomery

宮之上貴昭, ウェス愛を語る — レコード・カタログ

スキャンジナビアを魅了したジャズ

ノルウェー民族博物館ライブラリーを本邦初公開

Dexter Gordon, Stan Getz, Lars Gullin, Arne Domnérus, Clifford Brown, Quincy Jones,  
Monk Montgomery, Art Farmer, Gigi Gryce, Geroge Wallington, Lionel Hampton,  
Monica Zetterlund, Bill Evans, Terje Rypdal, Åke Persson, Sahib Shihab,  
Benny Bailey, Dave Brubeck, Josephine Baker, Duke Ellington, Count Basie,  
Louis Armstrong, JATP1956

石川紅奈 bassist/vocalist 人の心を魅了し揺さぶる強い力, 説得力

London Brew ロンドン・ジャズ・シーンからマイルスへのオマージュ

LOVE SUPREME JAZZ FESTIVAL 2023

現代オーディオで楽しむ「ジャズ喫茶の音」: ハードバップ編

Interviews Mami Horie KIsachi Shuichi Nomoto Ricardo Barcelar etc.

## ヒカルド・バセラル、デリア・フィッシャーによる珠玉のデュオ パンデミックや戦争で疲弊した心に一筋の光を与えてくれる ブラジル音楽界のレジェンド、ジルベルト・ジルへのトリビュート作品

前作『コンジュニト』から7か月足らずで届いたヒカルド・バセラルとデリア・フィッシャーのデュオ作『アンダー・コン・ジル』(意:ジルと共に歩く)は、その名の通りブラジル音楽界のレジェンド、ジルベルト・ジルに捧げられたオマージュ作品だ。共にピアニスト兼シンガーソングライターで30年来の友人である2人が今回、フォーカスしたのはジルベルト・ジルの、よりセンシティブで詩的&スピリチュアルな一面。アルバムには御年80歳のジル本人も〈ブレシ〉(祈り)で特別参加し、彼の温かな歌声は誰もが疲弊している2023年に一筋の光を与えてくれる。今作のきっかけについてヒカルド・バセラルは「デ

リアと時間をかけて、じっくり話し合った末に、ジルの80歳記念として特別なアルバムを作ろうという話になった。ジルは唯一無二の精神と哲学で、あらゆる音楽家に彼の故郷・バイーア地方の音楽、信仰と愛、生と死について教えてくれる。彼だけが奏でることのできるハーモニーでね」と話す。

今作はとても自然なかたちで2人がセッションを重ねていくうちに生まれた。「デリアという特別なパートナーがいたお陰でアイデアが尽きることはなかった。各日1曲セッションし、それぞれの声に重点をおきながら収録していった。とてもミニマルですがすべてが自然体だった」(ヒカルド・バセラル

以下同)

アルバムのインスピレーションにもなった名曲〈アンダー・コン・フェ〉(信じて進む)は歌とピアノ、そして原曲に忠実なハンドクラップのみでアレンジされた。

「信念、信仰という意味の“フェ”を“ジル”に変えてアルバム・タイトルにしたように、この曲は今作の精神性、ミニマリズムに重きを置いたコンセプトの中心となっている。ジルの長が顕著に表れた、喜びと希望あふれる誰もが知っている曲だから、皆もぜひ拍手で参加してほしい」

ジルベルト・ジルと歌う〈ブレシ〉ではベテラン・チェリストのジャキス・モレレンバウムも参加し、エモーショナルなレコーディングとなった。

「ジルは私たちが温かく迎え入れ、アルバムのコンセプトに心から共感してくれた。美しいメッセージを持った歌詞もすばらしい。ジャキスの演奏も感動的でレコーディングは一生忘れられない体験になった。この曲は彼のスタジオで映像収録したので、その様子もぜひ見てもらえたら。とても祝福された美しい瞬間だった」

誰もが目に見えるかたちで問題が顕現され、解決の糸口が見つからぬままもがき続けている私たちにラスト曲の〈ア・バズ・エ・パズ〉(平和)は“人間にとって幸せとは何か”を優しく問いかけている。

「今作の最初のシングル曲でもある〈ア・バズ・エ・パズ〉はジルベルト・ジルから私たちへのメッセージ・ソングだ。ジルベルト・ジルとジョアン・ドナートによる歌詞はとても幸福で、アルバムの最後に“平和とは何か”を問うことになった。パンデミックや戦争で疲弊した

我々は、今こそ平和について話し合うべきだかね」



『Andar com Gil』  
(アンダー・コン・ジル)  
(Jacquin Mass)

※本作につきましては次号 (Vol.153) の輸入盤紹介欄に掲載いたします



レコーディング中のジルベルト・ジル (vo)

